

UMIAILE

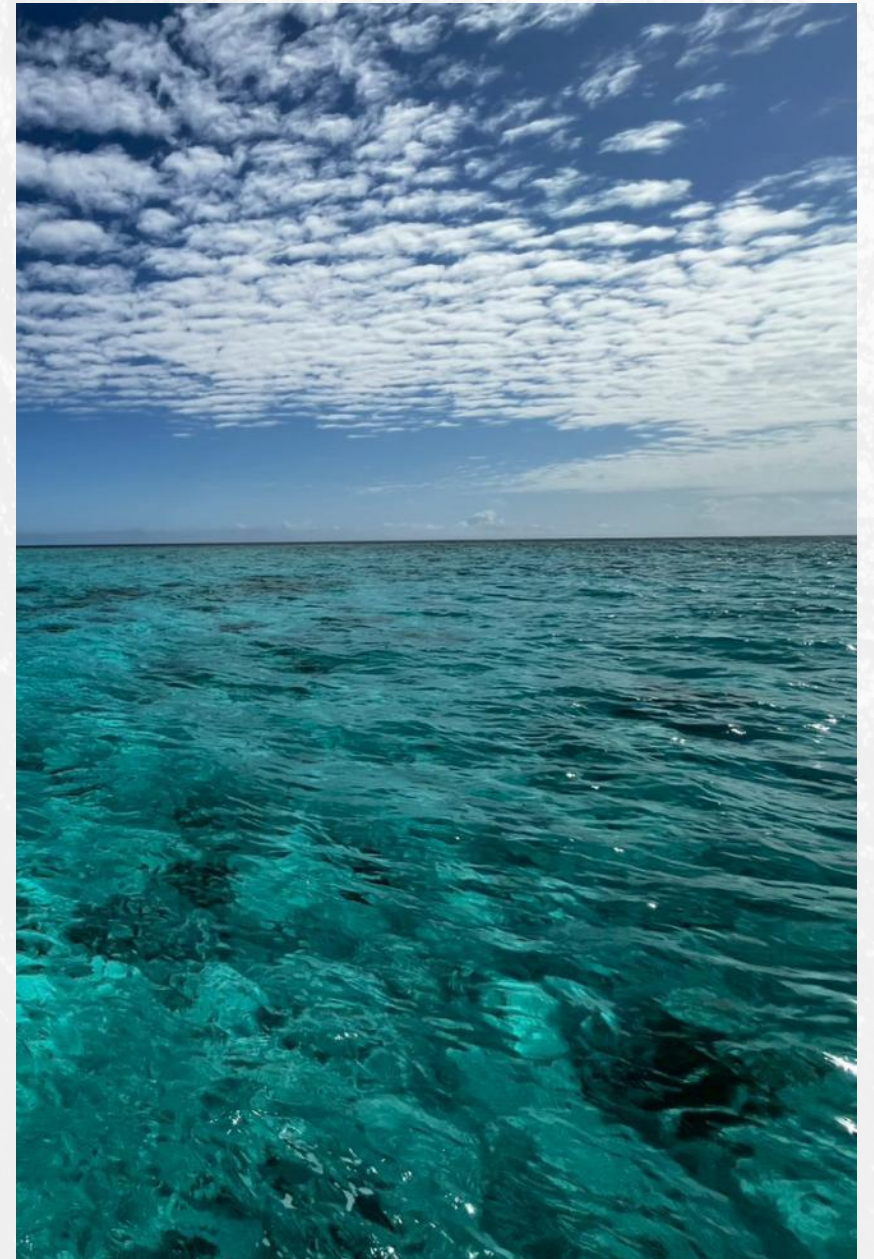
Culture Deck

はじめまして、UMIAILEです

Hondaの新規事業創出プログラムIGNITIONから生まれたスタートアップ企業です。IncubateFund、UntroD Capital Japan、Hondaを株主とし、IPOを目指し経営しています。創業メンバー3名は、学生時代からものづくりを愛し、世界最高品質のハードウェア、ソフトウェア研究開発の現場を経験してきました。

「地球的視野に立ち、世界中の顧客の満足」を考え続けたときに、私達は海洋大国日本が囲まれている“海”という領域でまだ技術の進化が遅れていることに気付きました。

CEO板井の水中翼への個人的興味・衝動から始まったUMIAILEは、時間と共にプロジェクトを支えてくださる仲間恵まれ、海洋ロボティクス領域の発展を志し、2025年に創業を致しました。



本書について

本資料は将来UMIAILEの航海にご一緒するかもしれない皆さまに、UMIAILEのことを少しでも知っていただくために作成したものです。私たちがどのような課題意識を持ち、どんな未来を目指して事業を進めているのか、そして、どんな価値観や働き方を大切にしているのか。このカルチャーデッキには、そうしたUMIAILEの「現在」と「これから」が詰まっています。

私たちが取り組んでいるのは、決して簡単な挑戦ではありません。それでも、地球にとって意味ある変化を生み出すために、一緒に物事の本質をとことん考え、全力で走り、笑い合える仲間を探しています。

このculture deckがあなたとUMIAILEとの接点となり、共に歩む未来への一歩となることを願っています。





※2025/8/1時点

UMIAILE

設立	2025年1月
----	---------

資本金	4,350万円
-----	---------

代表者	代表取締役 板井亮佑
-----	------------

従業員	4名
-----	----

所在地	東京都墨田区八広四丁目36番21号
-----	-------------------

事業内容

- 海洋観測機器の販売・保守・運用
- 海洋観測データの販売
- 海洋観測に関する研究開発
- 海洋監視・警備

投資家

- インキュベイトファンド株式会社
- UntroD Capital Japan株式会社
- 本田技研工業株式会社

創業メンバー



代表取締役・CEO

板井 亮佑

発案者・ハードウェア開発

前所属：
株式会社本田技術研究所
ソリューションシステム開発センター



取締役・CTO

海野 暁央

電装・ソフトウェア開発

前所属：
日本電気株式会社



取締役・CSO / COO

中島 亮平

プロジェクトマネジメント

前所属：
本田技研工業株式会社
コーポレートデベロップメント部



CONTENTS

1. UMIAILEのアイデンティティ/原動力/エンジン
2. 解決する課題と市場
3. 働く環境

1. UMIAILEのアイデンティティ/原動力/エンジン

UMIAILEが目指す世界

「海に見える化」を通じて 100年後も平和で豊かな地球に住み続ける

私達が住んでいる日本という国は、四方を海に囲まれた世界でも屈指の海洋資源を誇る国です。私たちはその資源を十分に活用できているのでしょうか。そして何よりその資源はいつまで持続するのでしょうか。私達UMIAILEは洋上を自律航行する小型モビリティの開発を通じて「洋上産業の発展」と「海洋資源の持続可能性」に貢献して参ります。

UMIAILEは 「海に見える化」 を実現する

これまで十分に観測されていなかった海洋データを、
高頻度・高密度かつ定量的に観測・蓄積することで、
地球を取り巻く社会課題の解決に貢献する。



2. 解決する課題と市場

CHALLENGE

海に見える化に たちはだかる 共通の課題



ヒト

海洋研究者や観測機器オペレータ等
海洋専門人材の不足

モノ

数少ない調査船を
数多くの研究テーマが争奪

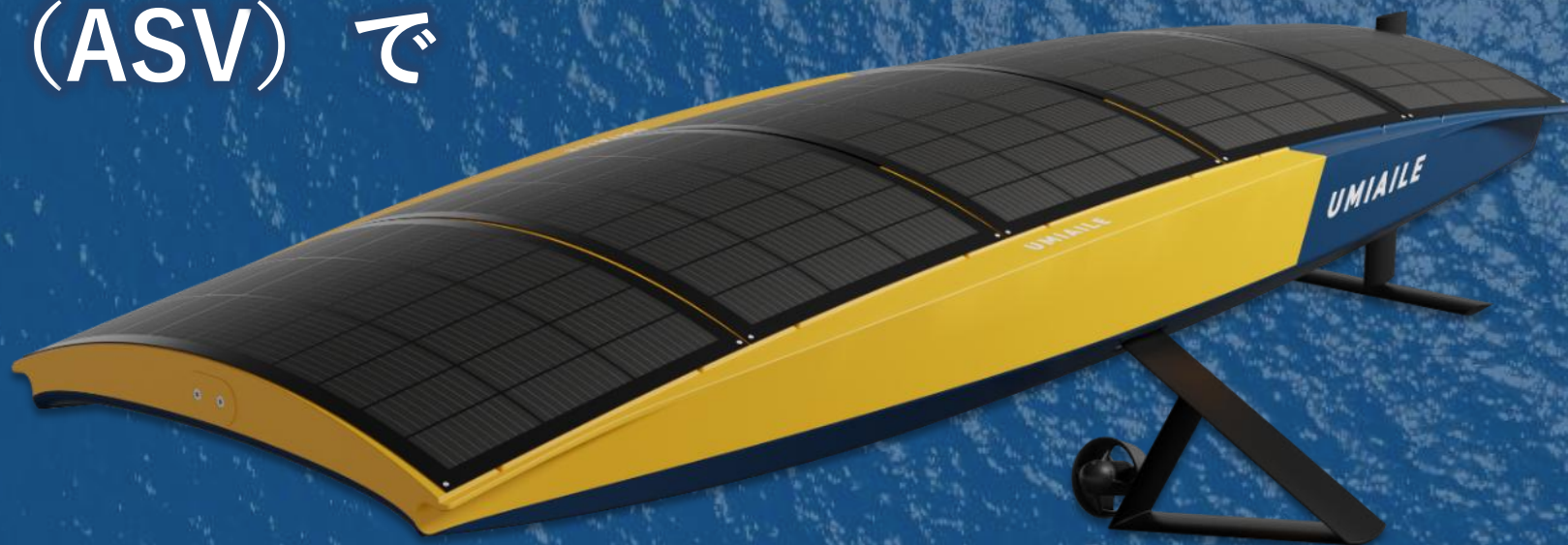
カネ

調査船の建造は数百億円規模
運用費は500-1500万円/日 ほど

CHALLENGE

小型自動航行船（ASV）で 課題を解決する

ASV : Autonomous Surface Vehicle



ヒト

プログラムに沿って自動航行し
自らデータを取ってくる

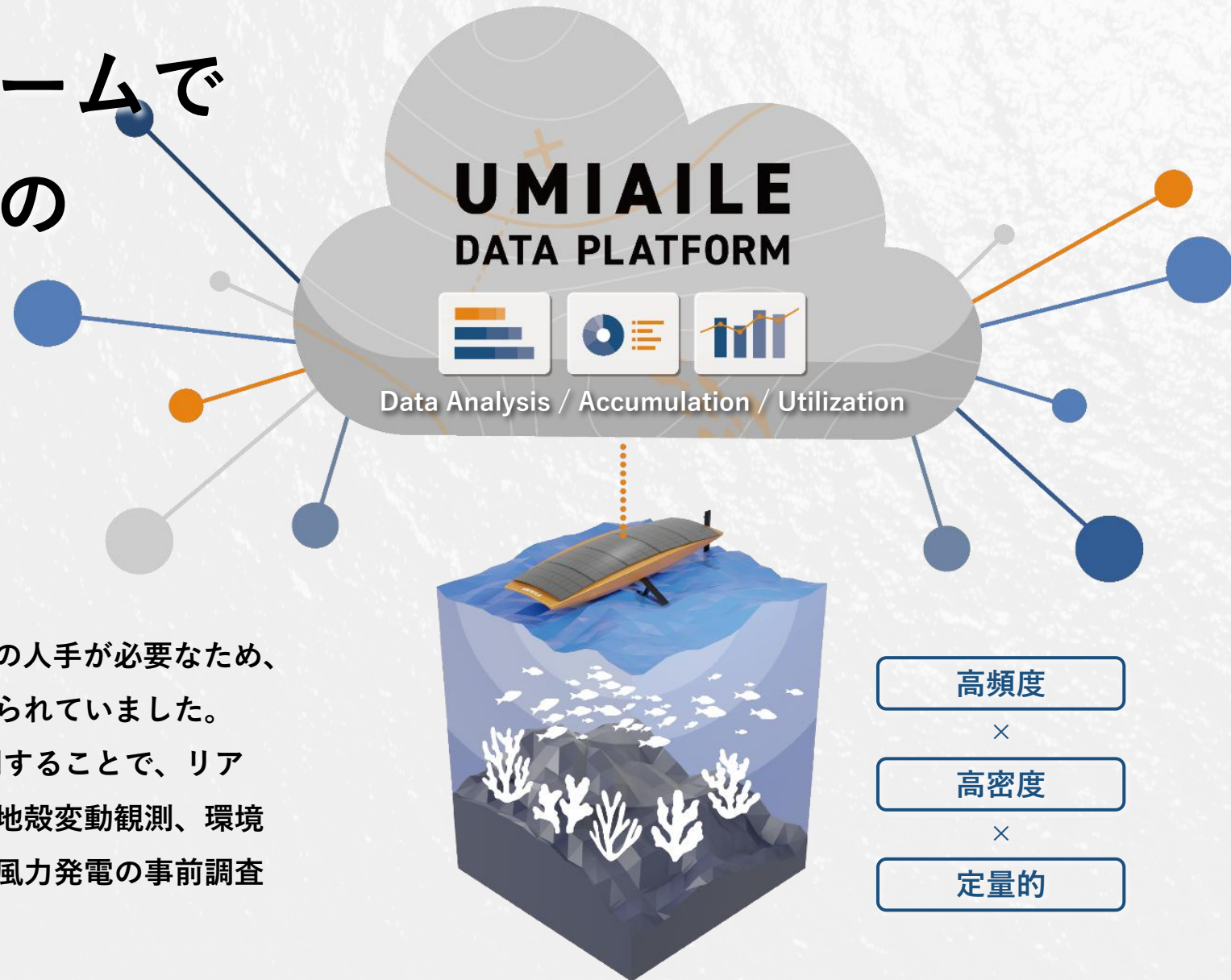
モノ

誰でも使える
用途に合わせてセンサーを搭載

カネ

安価に大量製造

データプラットフォームで 海洋観測・海洋産業の 基盤を作る

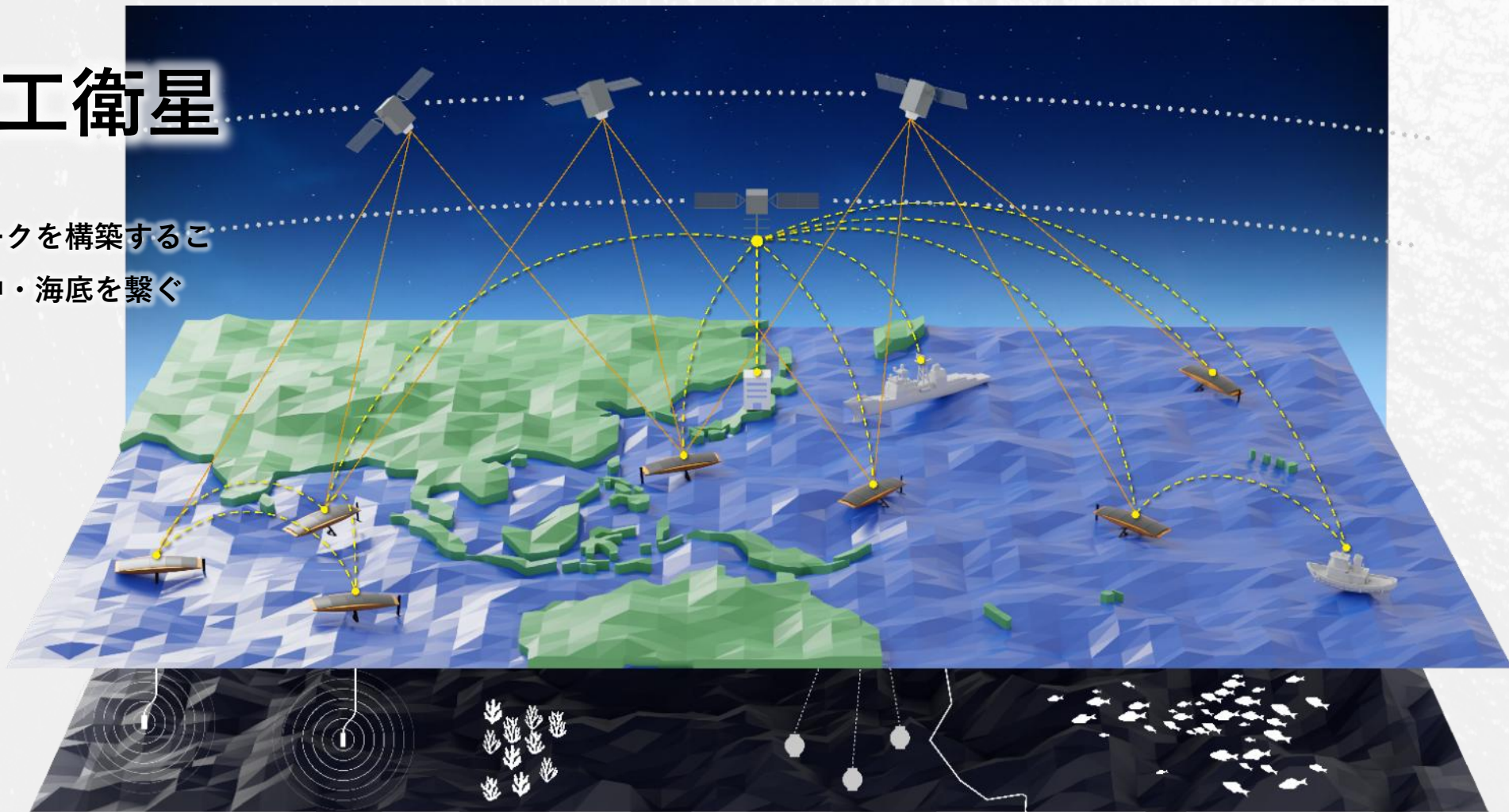


従来の有人船舶による海洋観測は高コストで多くの人手が必要なため、観測頻度を高めることが難しく、得られる情報も限られていました。UMIAILEは独自の自律型小型モビリティを群で活用することで、リアルタイムに高密度なデータの収集を可能とします。地殻変動観測、環境アセスメント、安全保障分野への活用に加え、洋上風力発電の事前調査や漁業支援など民間分野へも展開していきます。

CONCEPT

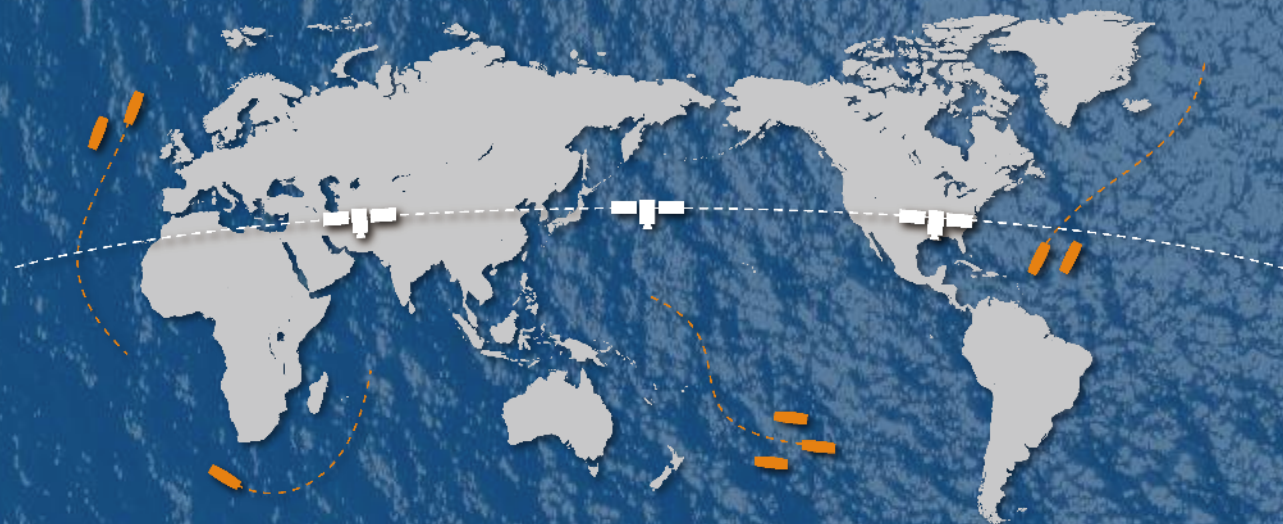
高度0mの人工衛星

大規模海洋センサーネットワークを構築することにより、宇宙から海上・海中・海底を繋ぐネットワーク網を構築します。



想定ユースケース

USVをプラットフォームにお客様が必要とするMissionに合わせてセンサを積み替え、多様な観測ニーズに対応いたします。



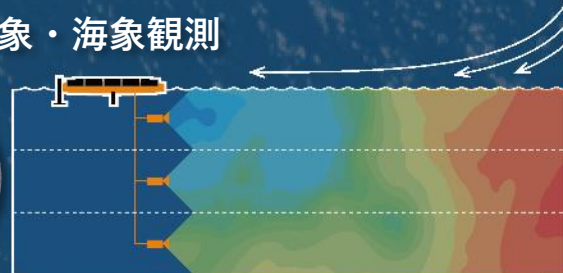
洋上建設 アセスメント

資源問題



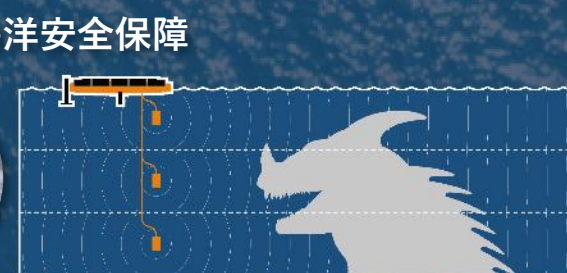
気象・海象観測

気候変動



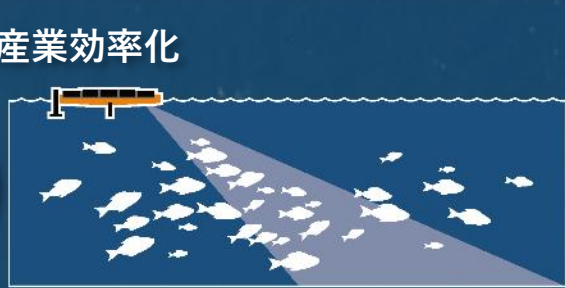
海洋安全保障

紛争



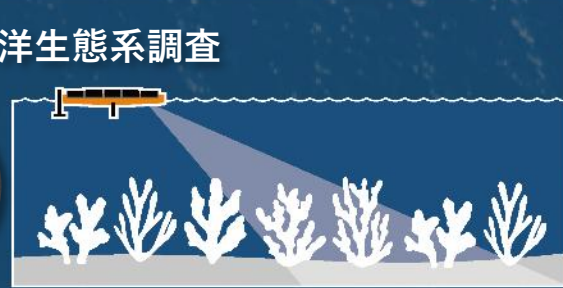
水産業効率化

食料危機



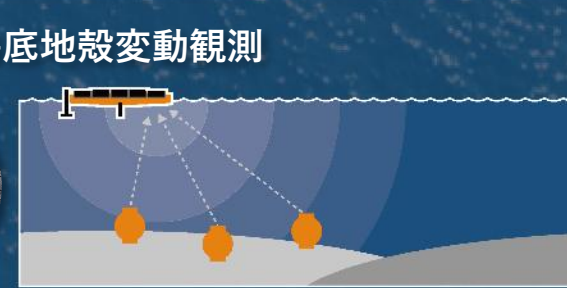
海洋生態系調査

資源問題



海底地殻変動観測

災害



3. 働く環境

活動のフィールド

現在、墨田区を拠点に北は北海道、南は沖縄まで、全国各地で海洋実証を推進しています。



テクネットすみだ（墨田区）

本社兼、R&D拠点



墨田区 河川

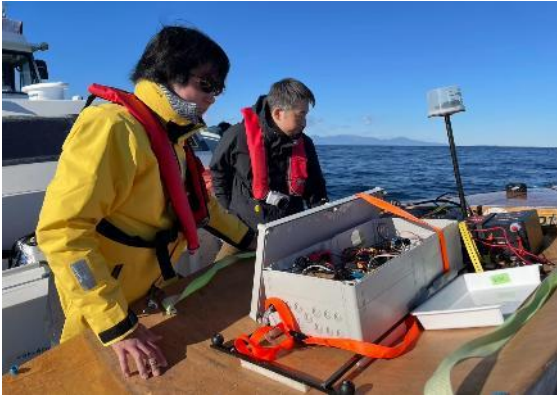
単体テストを実施



相模湾（静岡県）

実海域テストを実施

UMIAILEの組織づくりにおける信念



全員が、人を喜ばせるものをつくる

技術者も、事業開発者も、経理も法務も、社員全員が「人が喜ぶものをつくる人」で溢れるそんな会社でありたいと考えます。私達はまだ駆け出しの経営者ですが、会社づくりも「仲間が喜ぶものをつくる」ことという意味ではものづくりと同じだと感じます。試行錯誤を繰り返し、自分の頭で考え抜いて、勇気をもった失敗を称賛し、皆で誇れる会社を作りましょう。



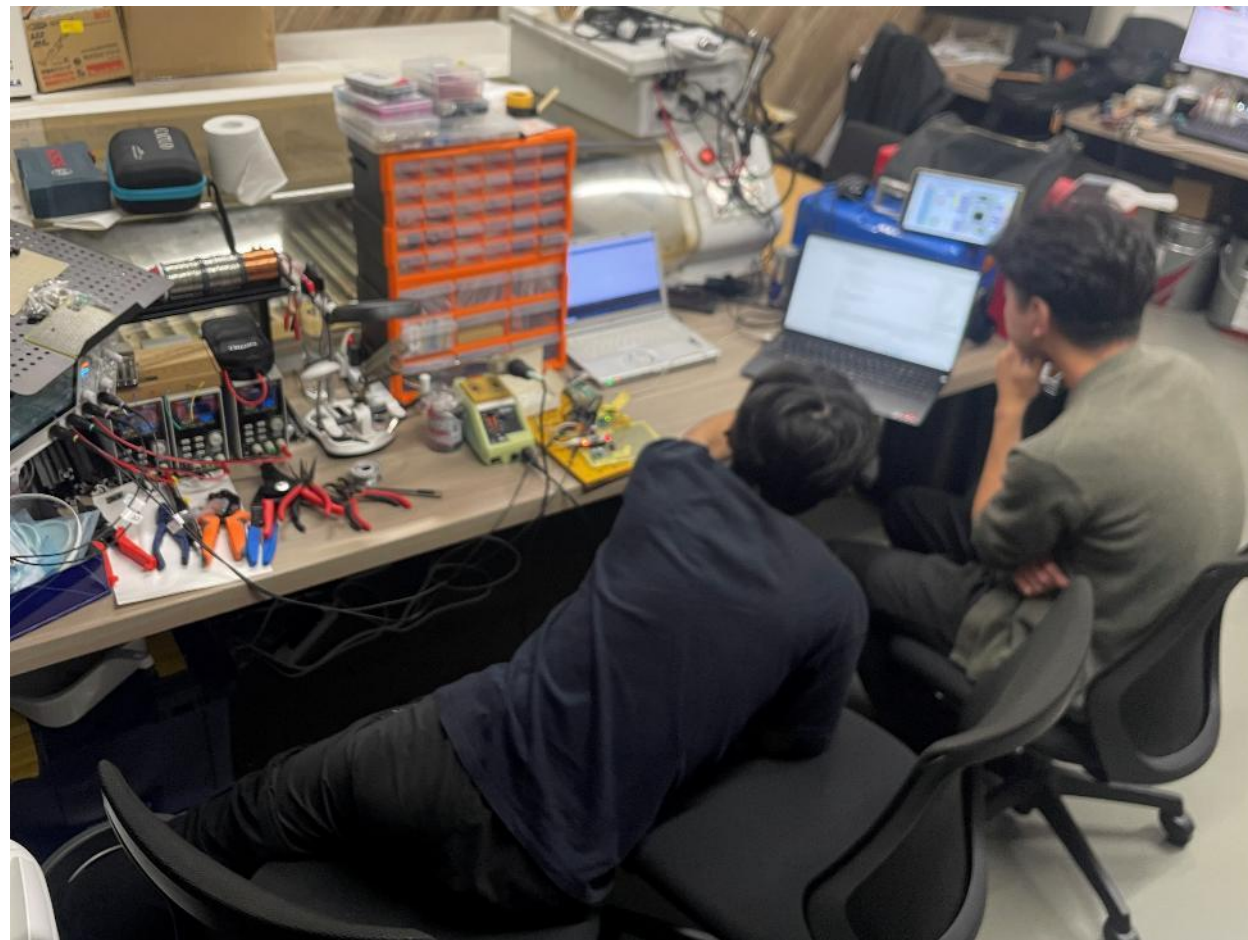
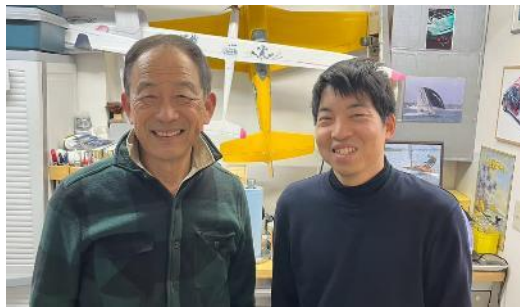
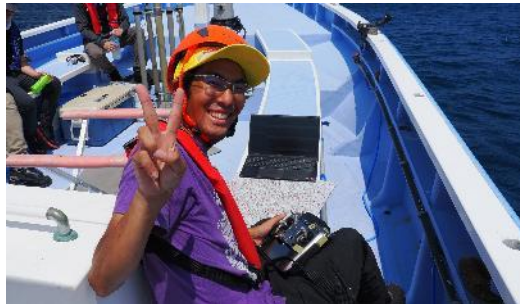
まずは自分のため、家族のために働く

本田宗一郎氏の言葉にはこんなものがあります。「君たちも、おそらく会社のために働いてやろうなどといった、殊勝な心がけで入社したのではないだろう。自分はこうなりたいという希望に燃えて入ってきたんだと思う。自分のために働くことが絶対条件だ。一生懸命に働くことが、同時に会社にプラスとなり、会社を良くする」私達もまた、自分と家族のために全力で仕事をするこ

とで結果として会社や社会のためになっている、そんな風土を作っていきます。

衝動・熱中・熱狂

UMIAILEは個々人の夢や想いの実現を最も大事にします。つい時間を忘れてものづくりに、コーディングに、社会実装に向けた仕掛けに熱中して取り組んでしまう。ユーモア溢れる、技術変態集団を目指しています。



エンジニアとしての スキルアップを実現する環境

大きな目標

我々は大規模海洋センサープラットフォームを構築し、国のインフラにしていくことを目指しています。
社会問題をプロダクトを通じて解決する。
そんな視点で技術を磨くことができ、技術的成長だけでなく”事業をつくる“力が身に付きます。

領域横断で”全部やれる” 裁量と責任

メカ（船体）、エレキ（電気・電子回路）、ソフト（組み込み・制御・クラウド）まで、ゼロベースでの企画検討から量産まで、レイヤーの壁を越えて開発に関わることができます。
役職や年次に関係なく、エンジニアと共にご自身の意思を製品・サービスに入れ込んでください。



現場で即試し即改善できる、 超・実験志向カルチャー

設計した機能がそのまま水槽試験や実海域で動かせる。
机上だけでは得られない、高速フィードバックループで短期間に多くの経験を積むことができます。